

令和3年度 学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

○学校教育令和の四改革「マネジメント改革」  
教科マネジメントやカリキュラム・マネジメントを通して、指導と評価の一体化をめざした授業づくりを行い、子どもの学ぶ力を向上させる。

【学校 目標】

学ぶ楽しさ、人のあたたかさ、明日への希望を見つける学校 - This is OIKAMI -

【現状と課題】

○学習は大切であり、将来の役に立つと感じている児童は多いが、学習したことを日常生活に積極的に生かそうとする態度に弱さがある。  
○授業に必要な情報を取り出し、関連づけ、自分の考えを形成するための授業づくりのイメージはできてきたが、話し合い活動が深まらないという課題がある。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<b>【取組事項】</b> ○単元構想シートの作成と活用  ○ICT機器の有効活用により授業効率と学習意欲を高める。	<b>【取組事項】</b> ○レジリエンスを育む人権教育の推進  ○家庭学習の習慣づくり ・学年×10+15分 ・家庭学習強化週間と家庭学習サポーター活用 ・自主学習の推進	<b>【取組事項】</b> ○『This is OIKAMI』を合言葉に自分の学校を誇りに思える風土を築く。  ○OJL(on the job leaning)による学び合いの場の設定  ○読書チャレンジ ・60冊——10,000ページ

その他 取組事項

- ・全校的に、なわとびに取組み、体力向上と仲間づくりをめざす。
- ・中学校区での実践交流をすすめる。

取組の評価

	取組事項	評価指標	1回目	2回目
			評価	評価
全体		・子どもは学校へ行くのを楽しみにしている(保護者評価95%)		
視点1	・単元構想シートの活用、ICT機器の有効活用	・授業がよくわかる(児童評価90%) ・ICT機器を使った学習はわかりやすい。(児童評価90%)		
視点2	・レジリエンスを育む人権教育の推進 ・家庭学習の習慣化	・自分にはよいところがある。(児童評価80%) ・すすんで家庭学習に取り組む(児童評価90%)		
視点3	・『This is OIKAMI』を合言葉に自分の学校を誇りに思える風土を築く。 ・OJL(on the job leaning)による学び合いの場づくり ・読書年間60冊、10,000ページの取組	・老小の誇り(宝物)を100個見つける。(子どもに見える形で作成する。) ・教師の満足度(95%以上) ・読書目標年間達成率(全校平均70%)		
その他	・なわとびを通して運動意欲を育てる	・進んで運動に取り組む。(児童評価80%)		

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上89%未満→B 70%未満→C 時期→1回目9月 2回目2月】

今年度の課題	次年度への対応策